

# 東京社保協ニュース

ホームページ <http://www.tokyo-syahokyo.net/>

NO.195号 2009年10月1日 発行

## 今月の主な記事

- 1 頁、秋の闘いで要求を実現させよう
- 2 頁、都議会開会日行動
- 3 頁、渋谷社保協・八王子社保協の活動
- 4 頁、東京シリーズ第5弾 東京の障害者問題

東京社会保障推進協議会(東京社保協)  
〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33番10号  
東京労働会館6階  
TEL 03-5395-3165 FAX 03-3946-6823

## 秋の闘いで要求を実現させよう!

### 自公政権退場

8月30日に行われた衆議院選挙は、新自由主義・構造改革路線を押し進めてきた自公政権に対しての、厳しい国民の審判により、自公政権退場という歴史的な選挙の結果となりました。

自公与党は議席を激減させ、民主党は三〇八議席を獲得する圧勝、共産党・社民党は現有議席に踏みとどまりました。新自由主義・「構造改革」の矛盾が深

刻化をます中で、世界同時金融恐慌が矛盾を一層激化させ、世界的にその見直しが探られています。日本では、特に不況の悪化と、「構造改革」による貧困と格差の広がりに国民の怒りが高まり、行き詰まった自公政権を追いつめました。

私たちが頑張って取り組んできた運動が、各政党のマニフェストにも示されました。今後は、私たちの運動の広がりが公約実施の力になります。

### 「緊急請願」要求実現9・16国会行動

衆議院選挙後の首班指名を決める特別国会が9月16日行われる日に、衆議院議員会館で「緊急請願」要求実現9・16国会行動が中央社保協主催で開催されました。日本共産党から小池晃参議院議員をはじめ高橋・赤嶺・宮本衆議院議員が参加し、社民党・国民新党からメッセージが寄せられました。東京社保協からは10名の参加でした。

小池議員は、「みなさんの闘いが政治を前に動かした。共産党は4項目実現めざし、みなさんと一緒に全力を上げていきます」と訴えました。

生存権裁判を闘っている北海道・東京・京都から連帯のあいさつ、相野谷事務局長から行動提起があり、①後期高齢者医療制度の廃止 ②生活保護母子加算の復活 ③障害者自立支援法を廃止 ④介護報酬の引き上げ の4項目の緊急請願の取り組みを強めることを確認し、衆議院議員に要請行動を行いました。全体で二

特別国会開会日の院内決起集会



## お知らせ

### 「安心年金つくろう東京連絡会」結成準備会

10月10日(土) 13時開会、社会文化会館

### 東京生存権裁判第4回裁判 東京高裁

10月15日(木) 12時半宣伝、14時裁判

### 全都いっせい「くらし・しごと何でも相談会」成功交流会

10月20日(火) 18時30分～21時 ラパスホール

### 第11回常任幹事会 10月21日(水) 午前10時～ 労働会館5階会議室

### 第21回東京高齢者大会 10月27日(火) 13時開場 合唱 13時45分開会 みらい座いけぶくろ(豊島公会堂)

〇〇名の参加でした。新しく様変わりした特別国会の冒頭にふさわしい行動となりました。

### 4項目緊急請願の実施を

上記の4項目請願は衆議院選挙前に民主・共産・社民・国民新党の野党4党が一緒になって運動を進めていた課題です。清刷の署名を増す刷りし、①宣伝して署名を広げ ②自治体に国へ意見書上げさせる請願・陳情 ③地元国会議員全員へ賛同署名をつのりましょう。

どれだけ運動が広がるかで早期実施を実現します。全国で取り組んでいます。秋の臨時国会、12月の自治体の議会へ向けての闘いで要求を実現させていきましょう。

# 都議会

## 開会日行動

### 都知事、都議会各政党・会派要請

豊田副参事に要請する東京社保協代表



東京社保協は都議会開会日の9月7日、都知事、都議会各政党・会派へ要請行動を行いました。参加者は都老協1名、東京民医連2名、年金者組合1名、新婦人本部1名、西多摩社保協1名、中野社保協1名、東京社保協事務局2名の9名でした。

要請した内容は①大企業に対して派遣切りなど不当なリストラをやめるように ②福祉、教育、環境保全などの

失対事業の拡大 ③失業者へ空いている都営住宅の提供を ④老人福祉対策、老人医療費助成(マル福)など福祉予算を元に戻して ⑤75歳以上の医療費を無料に ⑥国民健康保険証を対象者すべてに交付し、資格証・短期証の発行中止を自治体へ指導して ⑦加入者の保険料負担を軽減するため、国民健康保険財政への大胆な財政支援を ⑧新型インフルエンザの適切な情報提供で患者の重症化、さらなる拡大を防ぐ対応を ⑨「介護給付費適正化」によるサービスの抑制をやめるよう各自治体を指導して ⑩第4期介護保険事業の推進のため、地域包括支援センターの増設まで全ての対象者が受けられる介護保険制度へいっそうの財政支援、自治体への指導を ⑪民間社会福祉施設及び介護事業所の、福祉・介護人材の確保と定着が図られる財政支援・小規模多機能施設の運営費補助の増額を ⑫現行保育制度の維持・拡充をすすめ、認証保育所の職員配置、有資格者割合、面積基準などを引き上げて ⑬保育所の待機児をゼロにするため、認可保育園を増やして ⑭就学援助や学校給食への補助金など自治体間格差をなくすよう東京都が指導して ⑮給付型奨学金制度の創設を ⑯都立病院は都直営に戻し、都立小児病院の統廃合、センター化は中止して ⑰特別養護老人ホームの用地費特別助成の復活を ⑱特別養護老人ホームの待機者解消のため、介護付き都営住宅の建設などの検討を

⑲医療と介護の療養病床を確保するための支援策を強めて ⑳医師・看護師不足を早急に解消するため、医療分野で働くスタッフの待遇や労働環境を改善し、増員し、奨学金の対象者拡大を ㉑以下の事項を東京都として、国へ意見書の提出を  
●後期高齢者医療制度を廃止 ●70〜74歳までの医療費自己負担を一割に  
●生活保護の母子加算を復活 ●最低保障年金を創設 ●療養病床の削減・廃止計画を中止する

以上を要請しました。特に新型インフルエンザの対策には力を入れ要請しました。7月に都議会議員選挙が行われ、自公は過半数割れとなり民主党が第1党に躍進するという大きな変化があり、要請に対し、各党・会派は丁寧な対応でした。

要請後、三小児病院統廃合に反対する都庁前座り込み行動に参加しました。  
**昼休み都庁前集会**  
12時15分からは都庁第一庁舎前で昼休み集会を行いました。

**主催者代表あいさつ、伊藤議長**  
都議会・国会も新しい状況を迎えた。都民の願いと一致する公約を実現させる運動と世論を起こし、新しい都政・日本を作ろう。

**年金者組合本部金子委員長**  
私たちは3万人対話運動を行いました。様々な要求が出された。「医者に行けない」「老々介護の問題」などみんなの声が届きました。都政は都民の声を聞いてやればむずかしいことではない。

**清瀬小児病院を守る会・島山さん**  
小児病院が不足している中で、なぜ廃止なのか。私たちは3小児病院を守れ、都立病院を守れの座り込み行動を続行しています。みんなで守っていきましょう。

**日本共産党・大山友子都議会議員**  
くらし・福祉・教育を守り、中小業者を大いに応援していきます。新銀行・東京市場の豊洲移転に反対する党が過半数を超えました。みなさんの要求を実現するため、全力を上げ、みなさんと共に頑張ります。



都庁前集会の参加者

# 渋谷社保協

CCレモンホール前宣伝行動



## 高齢者の医療費は無料に

後期高齢者医療制度廃止・消費税増税反対ののぼりが天高い秋の空にゆうゆうとはためいています。9月18日、渋谷区の敬老大会がCCレモンホール（旧渋谷公会堂）で開かれ、渋谷社会保険推進協議会に加盟する東京土建渋谷支部・民主商工会・代々木病院・代々木健康友の会等26名で、敬老大会に参加する人たちが、通行人に後期高齢者医療制度廃止を訴えました。

CCレモンホールの会場前はチラシとテッシュを配る人、署名を取る人たちの「後期高齢者医療制度を廃止しましょう」の声が響きます。

対話の中では、「政権が交代したのだから廃止になりますよね」「民主党はやめると言ってる。署名はいららないのでは？」と新政権に期待をする声も寄せられ、「黙っていて政治は変わりません。皆さんの声を届けることで廃止が実現できます」「そうですね、がんばってください」と励まされます。

この日は短時間で署名一六七筆、テッシュ六〇〇枚、チラシ五〇〇枚が配布できました。「東京社保協の巣鴨地蔵通り署名活動に匹敵する反応の良さを実感。期待に身が引き締まるわ」と福井典子会長は語っています。

渋谷社保協・事務局長 新井 潔

## 八王子社保協

### 八王子社保協総会開催

八王子社会保険推進協議会は、9月18日に2009年度総会を八王子労政会館にて開催し、活動の総括と方針確認を行いました。

八王子では、昨年総会以降、「後期高齢者医療制度」廃止を求める運動を中心に取り組み、署名活動、年金支給日の駅頭宣伝を行ってきました。また、第4期

多くの質問も出された学習会



介護保険事業に先立った、八王子市によるパブリックコメント募集の際には、意見を集中するよう各団体に呼び掛けるなどしました。都政でも大きな動きとなった都立小児病院廃止問題では、「八王子小児病院を守る会」とも連携し、学習会を行って、6月には約200人の参加による市民集会とデモ行進を成功させました。

今回の総会では、東京社会保険推進協議会の成平事務局次長を講師に「総選挙後の情勢と社保協の果たす役割」について学習し、民主党政権誕生による変化の

特質と、私たちのたたかいが今後ますます必要になることを学びました。

学習会後には参加者から様々な意見や質問などが出され、活発なやりとりが交わされました。中でも、民主党のマニフェストにある「後期高齢者医療制度廃止」に伴った「健康保険一元化」について議論が集中し、各市町村や国保組合などが戦い勝ち取った先進的な制度が、低いほうに均されてしまう危険性があることや、「一元化」という安易な議論に世論が流される可能性があることなど、各団体から訴えがありました。私たちのしつかりした運動が広がれば、大きく変えていける展望があることも学びました。

八王子社保協は、市への要請行動や運動課題への定期的取り組み、団体間の情報共有不足など様々な課題があります。今年度はその課題を会議の定例化の確立を通じて克服し、より活発な社保協として発展させていきたいと思えます。

八王子社会保険協・事務局 伊藤 仁

◎地域の多くの住民の方にも呼びかけ、大いに学習し、運動を広げていきましょう。

◎「75歳以上医療費無料を」の署名の取り組みを強めよう。

9月議会に自治市民93、日本共産党の賛同で「75歳以上の医療費の無料」の請願と三、三五二筆の署名を提出。12月議会で採択がされます。

## 東京シリーズ 第5弾

# 東京の障害者問題

## 苦しめてきた自公政権の退場

この間の都議選、総選挙で、情勢が大きく動きました。私たちが苦しめてきた自民・公明の政権が、国民の厳しい批判を受け、退場することになったのは、私たちのこれまでの運動の力も働いているのではないのでしょうか。日本の政治にとって大きな前向きの一歩だと思えます。新しく誕生した民主党政権に対して、期待もあり、不安もありといった状態です。

## 障害者自立支援法は廃止できる

障害者自立支援法は、10月中旬頃から開かれる臨時国会で、審議されると思います。民主党のマニフェストには「障害者自立支援法は廃止し、制度の谷間がなく、サービスの利用者負担を応能負担とする障がい者総合福祉法（仮称を制定する）」と書いてあります。障害者を苦しめてきた応能負担は、廃止されるでしょう。問題は、その後です。どのような障害者福祉制度にするかが課題です。

## 作業所では

「僕が働く工賃より高い利用料が取られていた応益負担が廃止されるのは嬉しい。でも、給食費やグループホームの利用料、光熱費がどうなるか心配だ」と作業所とグループホームを利用している障害者が語りました。彼は現在、年金のほとんどが作業所とグループホームの利用料で消えています。私たちは、「障害者が福祉制度を利用する場合、費用負担があるべきでない」と主張し、署名を行っています。

## 裁判を起し闘っています

「応益負担は憲法違反だ」と訴えて裁判も起こし、東京でも公判が始まりました。「息子は地方の入所施設に居たが、家の近所に生活寮が作られ、東京に呼び戻すことが出来、希望も持てた。しかし、応益負担で将来の見通しが一気に崩された」と原告の母が訴え

ました。これまで国は、明確な反論が出来ませんでした。国連で決めた障害者権利条約の批准も課題です。私たちが願ってきた福祉制度を具体的に提言して、大いに議論する時でもあると思います。



## 10・30全国大フォーラムにご参加を

私たち障害者団体は幅広く結集して「さよなら“障害者自立支援” つくろう私たちの新法を！10・30全国大フォーラム」を例年のように日比谷野外音楽堂で10月30日に開きます。ぜひみなさんもご参加下さい。

## 都立3小児病院廃止条例の撤回を

東京都の状況も、この間の私たちの



昨年の10・31全国大フォーラム

運動が反映しているのではないのでしょうか。都立3小児病院廃止問題で障都連も一緒に座り込みました。「夜何度小児病院に飛び込んだことでしょうか。病院が遠くになったら、障害児のわが子の命と健康がとて不安だ」という切実なお母さんの訴えがありました。どうしても「都立3小児病院廃止条例を撤回」させたいと思います。憲法25条に基づいた社会保障確立を視野に入れて運動を進める決意を新たにしたい座り込みでした。

障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会・事務局長 市橋 博

作業所での風景

